

企業概要

株式会社アポロジャパン

<事業内容>

- 3眼ステレオカメラ 自動運転
- AI画像認識SDL事業
- スクリーンコード事業

企業概要

企業名：株式会社アポロジャパン
設立年月日：2005年3月29日
所在地：808-0135
本社：福岡県北九州市若松区ひびきの1-8
北九州学術研究都市事業化支援センター2F
長門支店：山口県長門市仙崎1031-78
URL <http://www.sdl-apollo.com>
kissyikko@apollo-japan.ne.jp
資本金：4,729万5千円
年商：4,000万円
従業員：2名
代表者：代表取締役 岸上 郁子
主要取引先：天津アポロ有限公司
自動車関連の実績 有(製品画像認識関連) 過去に実績有(製品) 無
交通アクセス：JR折尾駅
折尾西口バス停市営バス→学研都市ひびきの
会社組織：中国に現地法人子会社 天津阿波羅電子有限公司があり、主に開発を担う。
南開大学の大学院生など豊富な人材がそろっている。



北九州学術研究都市 事業化支援センター2F

経営理念

世界を変える特許技術
時流を見据えて、進化し続け、人の生活によりそう技術開発をめざします。

事業目標

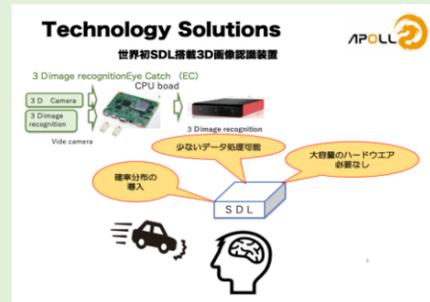
自動運転に不可欠な機械決断を可能にする、まったく新しいAI技術SDL (Self-Discipline Learning) の提案。
・AIアルゴリズムは基礎技術であるので、いろいろな応用が考えられる。取り組みの一つは自動運転であるが、ロボット、建物劣化診断、農業での自動運転、電気バスへの展開が考えられる。
・九州でSDLのコンソーシアムを作り、ひとつひとつを実現していき5年後の2030年にはIPOを目指す。

改善目標

ディープラーニングに比べ知名度が低いので、展示会やセミナーでのプレゼンを通じ、できるだけ多くの人に知ってもらうことから始める。
大手企業とのマッチングや大学との産学連携を主体に自社だけでなく周りを巻き込んでの事業展開を実現する。

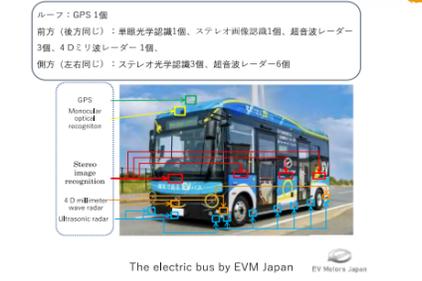
主要製品・サービス

<SDLとは？>



- 3眼ステレオカメラの競争力
- 1、業界一の150メートルのステレオ画像認識の距離を達成。これにより、レーダライダーの代替となる。
 - 2、障害物の距離、大きさ、位置を把握できるので、減速、停止、加速など自動運転の意思決定に必要な情報を得ることができる。
 - 3、小規模のハードウェアでの実装が可能であるため、コストが大幅に削減できる。

自動運転バスシステム



SDLによるバスの自動運転システムを北九州に本社を置く株式会社EVモーターズ・ジャパンと協業して実装実験に取り組んでいる。沖縄県の実証実験に採用予定で、北九州でも2025年度実証実験に取組計画がある。地域の地方再生や過疎化における交通インフラまた、バス運転手の不足などあらゆる方面で必要とされる分野と考えられる。

コア技術

<コア技術① 新世代人工知能SDL>

SDLの説明
自社特許技術に基づく機械決断モデルを用いたAIアルゴリズム

<https://www.sdl-apollo.com>

自動運転を例にとり説明。そのほか、倉庫内の配送や建物劣化の検査など応用範囲は広い。

<コア技術② スクリーンコード>

印刷に特化した特許技術。見えないコード「スクリーンコード」
見えない特質を生かし、セキュリティとトレースアビリティ用途に優位性がある。
注目製品は「ユニバーサル絵本」

<スクリーンコード応用分野>

■ユニバーサル絵本



■Sclinkスマートフォン読取アプリ

スクリーンコードをスマホで読み取るアプリを開発。
2023年に視覚障害をもつ子供でも楽しめるユニバーサル絵本を自社出版。絵本の技術は評価を受け、23年CESに日本を代表する新技術としてエウレカパーク出展。24年日刊工業新聞、リソナ財団主催の第36回中小企業優秀新技術・新製品賞で優良賞を受賞した。
今後は絵本の出版社と協業してユニバーサル絵本を日本から世界に発信する。
特許番号第6963798号 印刷物連携記録システムおよびこれに用いる記録印刷物 <https://apollo-japan.ne.jp>

特徴・強み(セールスポイント)

独自AI技術SDLモデルによるまったく新しい画像認識特許をつかい、機械決断を可能にした